

## 「井戸」― 斉学習⑥

寒そうな顔をして  
の追求

(先生の一言で丑に決定したことで、みんな気が楽になり、いつもの丑をもてあそぶような態度に変わっていることを復習として確認。)

T じゃ、丑の方の心の中は、どんなだったか、ということをお今日は勉強します。浩生、読んで。

浩生 「先生は、丑の着物をぬがせ……麻なわが細かくふるえながら、下がっていった。」

T 丑の心の中がどうであったか。丑の心を表す言葉がありますね。見つけてごらん。

Cs 見つけた。

「1個か?」「二つ!」

「ここでいいか?先生見て。」

T じゃ、留美おまえの見つけた言葉、いってごらん

留美 「寒そうな顔をして」

T はい、ここだ、という人。

Cs ほぼ全員挙手

T はい、まだ他に見つけた人ありますか。

大輔 「細かくふるえながら」

力 おんなじ。

T そこもひっぱったという人手あげてごらん。

Cs 7〜8人挙手

善崇 まだある。「つるべは宙に浮いて」

T ほう、なるほど。

暢子 いま考えたんやけど、あるわ。

「すぐっている手首がかくれて」

T 「すぐっている」……いいですね。

先生、ひとつでれば、いいと思ってたのに、4つもでた。

C みーちゃん手あげてやる。

美豊子 「ぐすぐずしている丑をつかまえて」

T あ、「ぐすぐず」 いいですね。

大輔 まだある。「念をおして」

Cs なんて、先生の気持ちやんか。

T まあ、聞いてみましょう。美豊子から。「ぐすぐず」には、丑のどんな気持ちがあるの。

美豊子 なんか、「ぐすぐずしている」のところで、

丑がいやがっている。

T 聞こえた?哲郎もういっぺん言って。

哲郎 丑がにげてるような。

T にげてる。いやで、前へ行くのがいやなんですわね

裕幸 入りがかったらよ、ぐすぐずせんとさっさと行く。

T そうだね。かなので、にげようとしてぐすぐずしているのをむりやり押し出された。

はい、いいですね。

では、みんなが多かった「寒そうな顔」ここには、丑のどんな心があるんだろうか。これを考えて下さい。どんな丑の心が感じられるか。

C 5〜6人挙手

T 今わからない人はこれからいう人の意見からヒントをもらってください。

幸則 この井戸、気味悪いしな、なんか、いいやなあと思ってた寒けがした。

保 家の小さい井戸なら入ったことあるけどな、十間もある、ものすごく深い井戸やん。ほんな深い井戸入るのはじめてやさかい、なんか、どんなことがおこるかわからんさかい、

貞幸 この深い井戸初めてはいるやん。ほんで、入る前に寒けがしたん。

裕幸 この井戸は、十八間もあってふかいやん。下になるほどぐらくなってるやん。しかもな、なにかわからんものがういてるんやろ。ほんで気味が悪いしな、寒そうな顔したん。

大輔 井戸に入る気持ちが出てる。

T どういう気持ちか？そういう言い方では、みんなにわからん。

今、何人かと言ったのは、この井戸の恐怖、おそろしさにぞつとして、寒そうな顔になったんだというところ。(力 冷や汗かいてるかもわからん)

大輔は？

大輔 うんとな、井戸に入るときの風みたいなもの身ぶるいするの。

T 井戸の中から詰めた風がフワアと吹き上がってくると、よけい井戸の恐ろしさで、ぞつとするというところか。

はい、今の聞いてて、みんなはどう？

美希 運動シャツ一枚で、井戸に入るのが気味悪いで

T どっちなの。運動シャツ一枚で寒くて青いのか。それとも、気味が悪くてか。

美希 どっちも

T どっちもか。晁典は？

晁典 ぼくもほんな深い井戸に入るのは初めてやしな丘の上やで、ものすごく深いし、家の近くやったら、浅いに入れるけど、ほんな深いところ初めてやで。ほんで。

力 家のあるところにある井戸は浅いで丑は入れたかもわからんやん。井戸ざらいのとき。今、深いでよ、中みえへんでよ、おれこんなところにはいるのかなんな。

T はい、ほうすると、今出てきた意見は、簡単に言うと、得たいの知れない、真っ暗の世界の井戸に入っていくのが恐ろしい、というんでしょ。

それ以外に、考えられませんか。

それが、五年生の勉強。

Cs (何人かでもぞ言っている)

T はい、善崇

善崇 みんなも、先生さえもやがっている井戸にはいるのは、やっぱり、こわいというか、みんなでもこわい……なんか……

T 善崇のいつてるのはこういうことか。ただでさえ、こわいんだけど、みんなも先生もこわがっているから、よけいこわさが増えるということ？ (善崇うなづく)

力 先生がこわがっているということは、このとき丑はまだ知らんのちがうの。

T どうなんやろね。

みんなはどう思う？善崇は、みんなのこわがっているのが伝わってよけいこわいといってるんだど。他の人はどう？るみは

留美……

勇也 なんか、これは深いで、じょうだんがでけん。

T ほう、おもしろい。

Cs 何？どうということ。

T よいかげんな気持ちでは、とつてもできないということでしょ。

真人 すごい度胸がないとでけん。

T おしつけられたにしても、しかたがない、ほんじゃ入るか、なんて、ほんな簡単な気持ちじゃとても入れな

い、ていうんやね。

真人 みんなに連れられていってもまだまだこわい。

大輔 勇也君とちがうで。「あの世行ったらどうしよう。」十間近くもあるさかいな、もし、井戸野中  
に入って麻なわでも切れたら、どうしよう。

T 死ぬかもしれないという恐ろしさも感じてる、というんやね。

裕幸 落ちてるもんがしってるんやったらな、知ってるもんとしてくるんやったら、まだどうもないけど、何が  
落ちてるかわからんでそれだけに……

T もう他にない。……

先生が考えたのはね、もうひとつは、丑がはいるとき、もし、みんなが、「がんばってこいよ」とか、いう  
声があつたら、この顔、また違ったんじゃないかと思うん。

C ああ、わかった。

T 先生の言いたいことわかる？

真人 だれも元気づけてくれへんで、しょぼんとしてるの。

保 みんな、丑をむりやりおしたり、なんか、つめたいやん。ほれでなんか、がんばれよ、とか元  
気づけてくれたら、ちよつとも気がましになるのに、ほれがないさかい。

和幸 友達がいいひんで。

T 友達がはげましてくれたら、

智美 丑も元気です。

T むしろ、丑が入るのを楽しんでるんでしょ。

智美 つめたいし、ひと声もかけてくれへん。

T みんなの冷たさも「寒そうな顔」にならへんかなあ、て思うんや。

(1時間目の途中から始めたので、ここで時間)

(学習後の感想から)

・丑は、寒そうな顔をする前にともだちがなにか一言でもかけてくれたら、丑は、「ようし」と思ってる  
うという気になるけど、みんな一言もかけてくれなくてかわいそう。(留美)

・丑が井戸の中に入る時、みんなからでもないさかいにはようはいたりとか、やさしく言われたら、丑もこわ  
いけど、みんながそういつてくれるからはいろうという気はあるけど、みんながはようはいれはくれとか、  
そんなふうにいわれたら、こわいし、寒そうな顔になる。(志穂)

・丑は、井戸が深いし、みんなのつめたさで、寒そうな顔をしたと思います。(真ひと)

・他のこどもがわらっているから、よけいこわいと思う(佐夜子)